

特集

# 超絶両ダンゴ メーター&チョーチン

若き達人が魅せる、100kgオーバー異次元の世界…。  
問答無用の超絶ワールドを体感せよ！

11 杉山達也 in 筑波湖

21 生井澤 聡 in 清遊湖

新生「枯法師」誕生特別対談  
28 生井澤 聡×細谷 徹

30 NEO-HERA PRO LEAGUE 2006 第三戦 三名湖

32 三度目の琵琶湖べら見参!! 南元彦

34 特別企画 吉川ひとみプロデュース!?  
老若男女みんなで楽しむへら鮒釣り。

38 DUEL CUP 2006 野田幸手園

40 石井旭舟 へらぶな浪漫街道  
《第四十五回》愛媛県 野村ダム

46 小池忠教 K'S FORM & STYLE  
《Vol.8》浅ダナの両ダンゴ 富里乃堰

53 中澤 岳 フィールド真っ向勝負  
《Vol.10》中澤 岳vs亀山湖

## ★AREA REPORT

58,66	西湖(山梨県)	本誌・伊藤洋一
60,68	五位ダム(富山県)	山本一朗
61,69	つつじ池(愛知県)	後藤 誠
62,70	分川池(奈良県)	前田誠志
63,71	筑後川大堰下(福岡・佐賀県)	河口正伸

134 竹とともに生きる。  
《第36回》「玉成」 川崎幹生

137 棚網 久の我流  
《第八回》戸面原ダムで段差釣り!!

143 田辺哲男&小林恭之の間答無用へらツアー  
《Vol.10》チョーチン王座決定戦参戦! 筑波流源湖

148 マルキューチョーチン王座決定戦 筑波流源湖

150 戸張 誠 関べら戦記  
《第八回》8月例会 三名湖 “真夏の決戦”

154 稲毛利夫 野釣り場地獄巡り  
《Vol.10》師匠、久々にへらを釣る!? 乗附緑地内の池、大谷の池ほか(群馬県)

159 東レ将鱈へらぶなカップ 羽生吉沼

195 岡田 清 Deep Side Angle  
《Vol.35》【“基本”】 加須吉沼(埼玉県)

200 北川穂積 西の交友録  
《第10回》ゲスト:日野洋一 釣り場:加古川(兵庫県)

203 ダン・へら名人クラブ対抗ペアへら鮒釣り大会 菊水池

204 メガネの坂本オリジナル偏光サングラス<sup>アルファサイト</sup> [α-sight] を語る。

206 釣果予想クイズ

208 フィッシングレディ  
《今月のレディ》直江明日香さん 逆井HC

※「杉山達也のSUPER SPLASH」は、誌面の都合によりお休みさせていただきます。

p.165~

## 釣り場割引 クーポン券

野田幸手園 椎の木湖  
清遊湖 谷和原大沼 上尾園  
F.A吉羽園 谷養魚場 将監  
柳生FP 筑波白水湖 泉堰  
逆井HC 友部湯崎湖  
水藻FC 甲南へらの池  
三和新池 狭山HC 新座LC  
川越FC 府中HC 当麻池  
芦田湖水光園 鳥羽井沼  
朝日池 大上へら池 霧の沼  
小川つり堀園 清川つくしFC  
千代田湖・舟宿 千和  
精進湖・釣宿 金風荘  
西湖・釣舟 白根  
西湖・釣り宿 丸美  
西湖・釣り宿 青木ヶ原  
相模湖・釣舟 五宝亭  
相模湖・釣舟 天狗岩

新刊!



▶今月の表紙

angler: 吉川ひとみ&石井旭舟&山岸 霞君&町田 昇さん  
field: 椎の木湖 photo: 本誌・諸  
angler: 杉山達也&生井澤 聡  
field: 筑波湖&清遊湖 photo: 本誌・里  
layout: 本誌・里

# へら鮒 10月号 Oct.2006 No.490

75 へら鮒釣り 超基本講座【道具作り編】  
《第22回》竿掛け・玉の柄作り①

81 ガチンコ道場  
《第10回》スーパーヒゲセット 野田幸手園

88 都祭義晃 カリスマ伝説  
《Vol.10》鬼退治のご褒美? 真夏の横根根川

92 石川裕治が伝授する王者の法則  
《第10回》西湖で数を釣る

99 江成公隆のトーナメンター、復活への道。  
《Vol.52》NARIES

106 すずめつつ へら鮒調査隊! 天野正由  
《調査ファイル10》精進の岡っぴりマップを作ってきてちょーたい 精進湖&西湖

110 水辺のプラネタリウム 吉本亜土  
《今月の星空》「池辺群虫図」

114 最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ  
《第四十四話》小べら釣りし、かの池!? 鮒の穴の夏。

119 へら鮒ブログ 西田美明  
《第10回》「只今、感涙中!」

122 母なる湖…琵琶湖べらを釣れ! 南元彦  
《第17回》西の湖で今度こそリベンジ!

126 野田幸手園新聞

162 ワクワク管理釣り場情報

171 小売店情報

★へら鮒BOX  
里ちゃんの新米編集長雑記  
情報発信基地  
ボイス

椎の木湖主催 ジュニアへら鮒釣り教室  
コラム『日研だより』 日研広報部長・遠藤克己  
コラム『日々是、勉強!』 ホワイト  
コラム『紀州“想いの竹”のものがたり』 中峯伸行  
プレゼント発表  
広告索引  
編集後記

## STAFF

●Producer  
根本百合子

●Editor in chief  
田中里史

●Editor  
大場勝良  
諸富一秋  
伊藤小百合  
伊藤洋一

●Planner  
〈オフィス・えふ〉  
藤原 肇

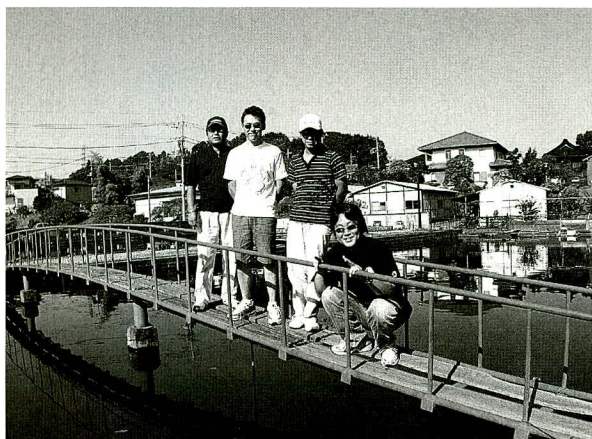


この物語は、  
栄光、そして挫折を味わい、  
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

# 江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka  
業界初、Web運動企画！—いいい再発議！ (URL) <http://hesar.yokohamaturumi.net>

## 「一歩進んで二歩下がる!?!」



8月10日、記念すべき「ナリーズ」第1回例会in町田H.Cの発足メンバー。左から、平山氏、江成会長、須崎氏、そして里（撮影は平山奥様）。…っていうかアニキ、やっぱり里もNARIES会員なわけ…？

…アニキ、これはズバリ日記ですよ？  
そうか！ 夏休みの日記ってやつですね？  
アハハ、宿題ってことッスよね～？

で、肝心の宿題、「取材の記事」はどこに…？

by里ちゃん（涙）

表題、何が緊急事態かって、今日が8月25日だということ。そしてさらに、あと15分で26日に変わってしまうのだ。今日も職場で明日を迎えてしまうことになる。アクビが止まらない。

僕は何も、忙しさを嘆いて皆さんの同情を買おうとしているつもりはない。どちらかと言えば楽しい毎日を送っているし、「世の中ってきつと、みんなこうなんじゃないのかなあ」なんて思い始めている。時間の切り売りだの何だのってギャーギャー騒いできたけれど、「バカ言ってるじゃねえよ」って感じていた人の方が多かったんじゃないのかな？…と思うこの頃の江成であります。ありやっちゃっ？もう日付けが変わったアー！

今、僕はまだまだかつて経験したことのない、まさに「生まれて初めて」の忙しさの中にいる。全く時間が足りないのだ。ちよびっとだけ「偉くなった」のは前回書いた通り。僕を毎晩深夜のサービス残業へ追い込むのは、膨大な量の提出物だ。あっちこっちの課から、これまた膨大な量のデータを付けて「宿題」を送りつけてくる。メールでポン。便利な世の中である。しかも、張り巡らされた社内ネットワークで誰でも膨大な量のデータにアクセス出来、好きなようにソート出来る。「ほとんど同じことじゃないの？ くだらねえな…」という宿題中にはあるが、いい加減な回答は許されない。全て数字なのだ。オラクルでもミラクルでもなんでもいいが、「オラ、狂っちゃうぞ！」…なんちゃって。おじさんとしては、前任者の「好意」で予行練習もバッチリの筈だったが甘かった。想像を遥かに超えた仕事量。マジに「マジで？」って感じだった。

た。マジマジ。のっけから、かなりヤバいですね、江成。

僕の仕事が肉体労働系サービス業だということは、さんざん書いてきた。始業時間は7時半だが、遅くとも6時半には出社しないと仕事にならない。管理者となった僕の出勤時間は5時半である。営業時間は21時終了。帰社後の業務や後片付け等で通常なら22時には退社出来る。これが「普通の」社員の日。プレイングマネジャーとなった僕が、少しは時間を作れるようにシフトを組めるとはいえ、本腰を入れて管理者としての仕事をスタート出来るのは22時からである。一日中走り回って塩を噴いた身体で、パソコンに向かう。やつてもやつても減らない宿題…汚い話で申し訳ないが、客商売だというのに一昨日から風呂に入れていない。

以前から「時間がない」とは書いてきた。町内のイベントや会社の労組、家族サービスなど、僕が完全に自由に使える休日が少ないという意味においては事実だった。しかし、「夜」はどうだったかと言えば、遅い帰宅で何もやる気が起きないために、ダラダラMacに向かう日も多かったのも事実。もっと自分に厳しくあれば、仕掛けもハリも結べたし、ウキを作る時間だって十分にあった筈だ。が、やらすにここまでできた。そして、その時間まで失った。プログラムの更新も、大好きなオークションも暫くはお預けである。

こんなタイミングでのナリーズ結成。以前の僕なら釣りどころではないのだが、「月イチ上等！」の開き直りは揺るがなかった。自分でも驚きだが、どんなに忙しかったって休日はあるのだ。溢れた仕事に時間を取られたとしても、釣りだけは絶対に止めない。そう、釣りだけは。とはいえ原稿だけは無理だ。21日、僕は里ちゃんと電話で話している。

「…そう言えば里ちゃん、今月の原稿は…」



「待たなして締め切りは27日の日曜日中ってことでヨロシクお願いしますねっ！」  
 …と、爽やかに切られた。

「27日の締め切りってスゴいな…まあ、そんならしいか。まだ時間あるし」

と、妙な感心で誤魔化された僕は、気付いたら今日を迎えてしまった。さすがに焦る。やりかけの膨大な書類を横目に、僕は原稿に取りかかり出した。おそろく朝までかかるだろう。明日は休みで原稿をやる時間はある筈だったのだが、うっかり者の僕は、子供とプールに行く約束を忘れてしまった。徹夜明けのプールは、ある意味仕事よりハードそうだが、27日締め切り当日は出勤である。今日しかない。会社でやる必要はない原稿作業でも、家に帰ったら布団の誘惑が待っている。夕飯も食べたいし、風呂にも入りたい。「残業続行」決定である。

### なんちゃって会議。

ここからマイMagでの執筆。今までは会社のウィンドウ。Magとは比入ようもないXの漢字変換の賢さは捨て難いが、どうにも落ち着かない。やっぱり見馴れたフォントがいいのだ(気分転換しないと寝てしまう。それと字数稼ぎ)。

つい先日、店長ばかりを集めた会議があった。冒頭、とつても偉い人が、「我が社が普通の会社であれば、とつくに倒れている収支状況。今以上のコストカットと営業を」だ。どうやらウチは普通の会社ではないらしい。金は井戸からでも湧いてくるのだろっか…冗談はさておき、倒れないのはまだいくらか体力があるからではないのか。もちろん厳しくないとは思わない。しかし潰れる潰れると言っていて、必要以上に絞るのは好きなやり方では

ない。こういう話に限って得意の数字を一切示さないとろがスルい。

会議もだいぶ進み、配られた会議用資料を眺めていた僕はあることに気付いた。会議用の資料には、僕らの報告事項がフィードバックされているのだが、そのところどころが抜けている。いや、よく見れば、ところどころは、記入されている方だ。つまり、誰も宿題なんざやっちゃいないのだ。しかも会議中、そのことへの叱責は一切なかった。このアマさは一体何なんだ？ ウチってそんなに切羽詰まってるんじゃないの？ 気が抜けたと同時に怒りが込み上げて来た僕は、会議終了後、本部の営業課のスタッフにくっついてかかった。

「新任の江成ですが、今日の会議は一体何だったんすか？ 誰も宿題やってないじゃないですか。しかもお咎めナシだし。初っ端だから馬鹿正直にやっちゃいましたけど、次回からはもうやりませんので」

「まあまあ江成君、そんなこと言うなよ。みんな日常業務でイッパイイッパイで、なかなか時間作れないんだろっと思うんだ。でもね、出来る人は出来るだけいいからやって欲しいんだ。現場の声が聞きたいのは本当だからな」

なんて甘いんだ…。仕事なんだから時間は作るしかないだろうが。

「あの…すいませんが、自分だって時間なんか無いっすよ。おかげさまで寝てませんか？」  
 「あ〜ダメだよ、そんなことしちゃあ。次の日の業務に差し支えるから。健康第一でお願いしますよっ！」

ダメだこりゃ。こんなのを雇っている余裕があるウチの会社は、今はまだ潰れない。でも将来が危ういのは間違いないさぞうだ。どうしてもおさまりがつかない僕は、次は怒鳴られる覚悟でもう一発余計な質問。

「現場に余裕が無いの分かってるなら、最初から出来っこないと思ってるのなら、もう少し量を考えてもらえませんか？ 自分で言うのもどうかと思いますが、馬鹿正直なんで残すのが耐えられないんですよ。生徒の自主性を重んじる校風っていうんですか？ 学校ならいいですけど、やる人だけやればいいなんて、どっかと思うんですがね。仕事じゃないですか」

「その根性いいねキミいっ！ 今回も8割方が報告ゼロだからね、江成君も目立ってたぞ！ 今の調子で頑張れば、もっと上に行けるよ！ でも無理し過ぎないように。いや〜気に入ったよ！ 応援してるから！」

アホか。最初から宿題をぶっちぎるヤツはいない。それにしても知らなかった…ウチの会社は学校だったのか…。しかも生徒の8割が宿題やってこないんだって。荒れてるね(笑)。う〜ん、でもちょっとその気になりかけた自分もいてコワイ。確かに上を目指すには穴だらけの会社なのかもしれない。しかし裏を返せば、現場の生産性管理には物凄く厳しいウチの会社が、店長クラスの会議でこれだけアマイということは、店長なんぞ何かあった際の現場の責任を明確にするためだけのものであって、営業的には全くアテにされていないということだ。会議も下からの情報には聞く耳があるというポーズ。指令は運が上からの一方通行である。あ、なんだか普通の会社って感じでちよっと安心してきた。

### 8月15日。

小泉総理が靖国参拝したこの日、午後から買い物に出かけた。行きバスの中で、面白い会話を聞いたので記しておきたくなった。「70歳」くらの老夫婦の会話である。

「お前よお、さっきなんであんなにテレビで大騒ぎしてたんだ？ 小泉さんが神社に行ったとかなんとかって」

「あたしも知らなかったんだけど、なんだか悪い犯人が祀られてるのにお参りに行っちゃったらしいのよ」

「そりゃ問題だなあ」

賛否両論。史観に思想。様々な立場があるだろう。でもこの問題の焦点をボカす一番の原因は、やはり無知と無関心であることをハッキリと認識した出来事だった。つくづく幸せな国である。

靖国といえ、近い将来、連載の代打をお願いすることになると思われるナリースの須崎氏について書いておかなければなるまい。釣り専門誌の代打原稿の中で直接触れる筈もないが、文章の端々に滲み出るのが思想であるからだ。

氏はブログで公言しているとおり、民族派である。まだ氏の思想的な部分をよく知らないが、カテゴリー分けするとしたら、「極右」ではないと思うが「どちらかと言えば右翼」というようなアマイものでもなさそう。今年の8月15日、氏は当然靖国神社にいらしたい。こんなことを書くと、氏に嫌悪感を持ってしまう読者もいるだろう。左翼思想下で育った戦後生まれの日本人の大半がそう感じるかもしれない。また、△右翼≡愚連隊≡ヤクザ△というような、暴力的なイメージで嫌悪感を覚える人があるかもしれない。でも、そういうステレオタイプはもうやめよう。もしかすると昔は「とつてもやんちゃ♡」だったかもしれないが、現在の須崎氏は外見からは全く判断がつかない普通のサラリーマンである。普段着もごく普通のカジアルだし、派手な車に乗っているということもない。「前ならえ」が、実は左を向いていることに気付いていない人々に対し、氏はあからさまに啓蒙しよう





アニキの方がコワイっすよ…

と構えたりはしないし、どっちかといえば右翼？な、なんちゃって江成にも、決して説教しようとはしない。まだ数度しかお話していないが、氏に対する僕の印象として言えるのは、とても人当たりが良く、筋の通った気持ちのよい会話が成立するということだ（そりゃそうだ。だってバリバリの営業マンだもの）。安心して読んでいただきたい。

世の中はバランスを求める。極端な人が居たところで、それはそれでいい。丁度のところは落ち着くだろうから。それより、「皆同じ」の方がコワイっすよ。

### 夏の終わり。

日中はまだまだ死ぬほど暑い日が続いているが、秋はすぐそこまで来ている。夕方の風にも秋を見つけることが出来るし、日が暮れるのが早くなった寂しさも秋。

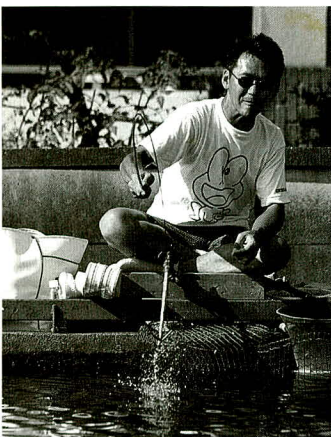
春から段々と日が伸びてくると、夏の冒険に思いを馳せるのは35になった今年も変わらなかつたし、大冒険をしなかつたのも変わらなかつた。ただ、僕には息子がいる。夏休み中、僕の休みを毎日心待ちにしていた息子にだけは、小さくてもいいから、冒険を提供してやりたかつた。しかし、忙しさにかまけた僕は、あまり付き合ってやる事が出来なかつた。もちろん全く何処へも連れて行かなかつたわけではないが、自分の子供の頃の夏休みの高揚感を思い出せば、親の全ての休みをくれてやったとしても満たすことが出来ないほど、特別なシーズンだつたのではないか。にも関わらず、僕は休みを自分の遊びのためだけに一度（取材に行つて、その夜は飲んだので実質二日）使つてしまつたし、持ち帰りで仕事で何度も相手をしてやれなかつた。

8月20日は鶴見川の花火大会だつた。家族ぐるみでおつき合ひさせていただいてる友人一家と、その友人の「ソウが飼える三階建て」の屋上で花火を見ながら大宴会。毎年恒例行事だが、これが終わるといよいよ夏も終わりとなる。一睡もせずに参加してへろへろに酔いながら、花火が終わつた瞬間の猛烈な自己嫌悪。今さら後悔しても遅いが、幼稚園最後の夏休みに一度も海に連れて行ってやれなかつたことを思い出してしまつたのだ。実は何度かチャンスはあつたのだが、台風でアウト。そしてもうクラゲ。せめて今日のプールで罪滅ぼしとしたい。

### 原稿の終わり♡

というわけで、僕ちゃんプールに行く時間になつちやつたんで、後は里ちゃんに任せることにします（例会結果の報告と、会則を載つていければオッケイです）。ナリーズ第一回例会となつたこの日のカッツケ取材については、とくに書くこともないでしょう。たまたまシブかつたように狙つた爆釣は出来ませんでしたし、カッツケという釣り方に関しても、昨年の9、10月号を確認したところ、特に書き足したいことはございませんでした。ただ、今回は不完全燃焼気味でしたので、次回取材こそ、爆釣を決めたいと目論んでおります。

んじや！



「んじやー」

## 「浅ダナスタイル・ワイドプラス」

# 杉山作

	トップ	羽根	カーボ底
七番	10	7	7.5
八番	11	8	7.5
九番	12	9	7.5
十番	13	10	7.5

※トップは内径1mm(パイプトップ)  
ボディは5.5mm径一本取り  
1本¥8,300 (税込)

発表以来、絶大な支持を得ている「浅ダナスタイル・ワイド」のビッグサイズ版、登場。  
バランスはそのままに、サイズ、ボディ、トップにボリュームをプラス！

取り扱い店（五十音順）

埼玉・越谷 かわせみ (☎048-969-5067) 茨城・下妻 こやの釣具 (☎0296-44-1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館 (☎03-3499-5025)  
埼玉・入間 へらの三水 (☎042-964-2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその (☎0285-72-2215) 神奈川・川崎 鮎仙人 (☎044-287-7470)  
東京・吉祥寺 丸勝 (☎0422-22-8923) 東京・青梅 吉川釣具店 (☎0428-22-2467)



地獄の始まり(怒)!

——ここから里が執筆——

「んじゃ!」じゃないっすよ…。これって「原稿」じゃなく、日々の葛藤「グチ?」を書きなぐっただけじゃないっすか! こういうのは自分のブログでやってちょうだいよ! 里ちゃん、ついさっきまでカラーページと格闘していたこともあり、マジで怒ってます…。

…というわけで、アニキのケツ拭くハメになっちゃったんで、仕方なく任されることにします(今回の締め切りが史上最大の譲歩であることは言うまでもなく、里に原稿を書き足す時間などあるワケないことは、アニキも十分理解していると思っただけに…罰として原稿料カットご了承いただければオッケーです)。

先月号でのナリーズ結成宣言からひと月。8月10日、公約通りに記念すべき第一回例会が町田H.Cで行われた。なぜ町田H.Cかというと…、去年の同時期の取材でものすごく釣れたこと(時間40枚!)と、お昼のひやむぎがとっても美味しかったこと♡

で、初代月例会優勝者は江成アニキ。「チャカでオーバー300枚」を高らかに宣言して始まった例会だったが、予想外の激渋状態。そんななか、アニキはより多くのへらを探して池中を移動して回るといふ、ハコの釣りでは思いもつかない技?を繰り出し、優勝を強奪。会長の面目を保った(まったくこの人って…)。

その後、横浜市内にある、あのトーナメントモンスター岡田 清氏の新しいお店「とりまる」にて、盛大に(というか、ギャーギャーと叫ぶさく)発会式が執り行われた。以下は例会と発会式の模様。写真byしんちゃん…。



ついに発会の時を迎えてしまったNARIES。平山奥様(左端)の女性らしい冷静さが、NARIESを長続きさせる唯一の力ギかもしれない…



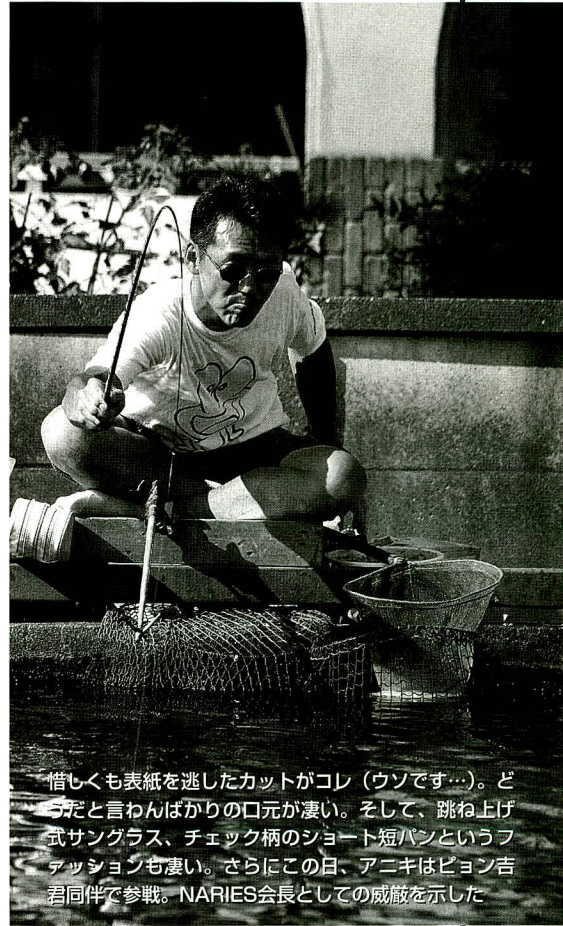
ほのぼのとした例会風景。予想外の激渋に見舞われウキの動きはイマイチ。牧歌的な雰囲気すら漂う…



激ウマ町田H.C名物特製ひやむぎに、ピョン吉君もご満悦♡



普通の会だと、会長はムキになって釣らないものである。しかし、ナリーズにそんな常識は通用しない。奇声を発しながら絞ったかと思えば、アタリを求めてへちへと移動。これがナリーズ会長である…



借しくも表紙を逃したカットがコレ(ウソです…)。どうだと言わんばかりの口元が凄い。そして、跳ね上げ式サングラス、チェック柄のショート短パンというファッションも凄い。さらにこの日、アニキはピョン吉君同伴で参戦。NARIES会長としての威厳を示した

**NARIES 第一戦 町田H.C 2006.8.10 Result**

順位	選手名	枚数	重量kg
1	江成会長	92	24.4
2	須崎副会長	70	22.6
3	平山幹事長	68	21.0
4	平山奥様	61	18.4
ビリ	里ちゃん	63	16.8

アニキの要望で結果はネオヘラ風に…



炭焼串工房とりまる

横浜市緑区台村町309-1 土井ビル1F ☎045-935-0123  
できたてホヤホヤの岡田 清氏のお店。おそらくアナタの「焼き鳥観」が一変するほど美味(マジ!) ペレット臭い手でチャンプ直々に焼いてくれますよ!



「とりまる」で盛り上がる三人。左から平山氏、アニキ、須崎氏。結局この日は深夜まで「理論攻め」で引き留められ、里は飲んでもいないのにへ口へ口。帰りの高速に乗った途端に睡魔に襲われ、港北PAで爆睡。気が付いたら翌朝になっており、急いで帰宅して準備し、そのまま「浪漫街道」の取材で四国に出発。18時間の地獄のドライブとなった…。アニキも忙しいらしいが、一回、里の仕事代わってみます?



## ナリーズ三原則。

以下に、発会式で決まった「ナリーズ三原則」を挙げます…。

### ナリーズ三原則

- 「理論なくして釣果なし」…コレ、会則、ですか…?
- 「門戸は広く敷居は高く」…もしかして会員募集する気? それに、「敷居」って…?
- 「競技会、勉強会など様々な、形式あるけどウチは研究会」…字余り。意味不明なんですけど…。でも、一応は競うんよな?

…というわけで、これが三原則だそうです。具体的な細かい会則等はまだ未決定であり、決まっているのは、「来年のマルキュー・クラブ対抗選手権制覇!」ということだけ(勝手に決めるなよ…)。例会は、基本的に本コーナーの取材日と同時にいうらしいが、「不定期」のこと。あっ、あと、釣りの後は必ずコッテリとした反省会を行うとか…(ひえ〜)。

## 勝手に会員。

以下に、発会式で勝手に決まった「ナリーズ会員」を挙げます…。

### 会長 江成

副会長 須崎

幹事長 平山

広報・検量・書記・会計 里ちゃん「要するに『雑用』ってことやんけ…」

名誉会員 平山奥様 岡田清「あのう…勝手に決めないでくださいよ…」岡田氏本人談

特別会員 田辺哲男「あのなあ…(苦笑)。江成君らしいけどさあ…。百歩譲ってナリーズってのは認めますよ。ロゴのバクリは…マルキューに聞いてくれ(苦笑)。田辺氏本人談

### 会友

萩野孝之(マ社フィールドデスター)

杉山達也(マ社フィールドデスター)

小柳康秀(マ社フィールドデスター)

高橋秀樹(マ社フィールドデスター)

佐藤 誠(自作自演つながり)

本多俊行(自作自演つながり)

カット(ピ西澤(ピンチヒッター))

# 釣番付

## 料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

## 書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

## ウキや小物の絡入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～  
2回目以降同じものをご注文の場合  
は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

## 取扱店:

柴舟(東京都江戸川区)  
03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)  
044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)  
03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)  
044-711-8266

鮎仙人(神奈川県川崎市)  
044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店  
または下記HPまでどうぞ

office27  
あとろえぐり

http://www.office27.com  
E-mail:info@office27.com



「岡田君は特別会員にしたいから。特別だぞぉ♡」  
「勘弁してくださいよぉ…」  
アニキの言葉に、マジで嫌がるチャンプ岡田 清なの  
でした…

〈以下続々参加予定?〉

以上、全く未承諾で掲載させていただいて  
おります(汗)。  
「オレの名前がない!」という方、里まで御  
連絡下さいませ…!!  
「オレの名前を外せ!」という方、残念なが  
ら諦めて下さい…。  
…というか、やっぱり里も会員なわけ…?

## ～先月号のお詫びと訂正～ by 里ちゃん

●先月号p.100二段目の最後から4～3行目(僕達4人の共通認識にはやはり、「ないバズルを空想する楽しさ」であった。)は、(僕達4人の共通認識にはやはり、「ないバズルを空想する楽しさ」があった。)の誤りです。なんでいじっちゃったんだろう…。

●先月号p.101最後から4行目(僕の思ったとおり)の注釈部分がすっぽり抜けてました。以下に掲載します。アニキ、ゴメンなさい!

\*「ロクに釣れないにせにノーガキばかりこいてるようなアホ(江成)の眼力がナンボのもんじゃい」とお感じになれる読者の方もいらっしゃると思うので、補足とします。「江成の眼力」ではなく、歴史的事実が証明してらんです。僕の友達は、最初は釣れなかったとしても必ず釣るようになります。僕が教えたとか教えないとかは関係ないです。みんなスターになっていくんですよ。それから、メジャートーナメント地区予選で、僕の隣で勝ち上がっていた人で、そのまま全国を獲ったケースも3回くらいあります。今年のバリバズもそうでした。もちろん僕が負けなければ自分が優勝だったなんて言っていないですよ。トーナメントで僕を見たら、確変とかドラだと思って下さい。



# へら鮎 10

Monthly fishing magazine herabuna

老若男女 特別企画  
みんなで楽しむ  
へら鮎釣り。

吉川ひとみプロデュース!?  
世代を越えてみんなで楽しんじゃいましょう!



## まだまだ最盛期!

### 特集

若き達人が魅せる、  
100kgオーバー異次元の世界...。  
問答無用の超絶ワールドを体感せよ!

## 超絶両ダンゴ

## メーター&チヨーチン

杉山達也in筑波湖

生井澤 聡in清遊湖

平成18年10月1日発行(毎月1日発行) 第41巻 第10号 定価1,950円(税別) 印刷所: 三栄印刷工業株式会社





ボソに仕上がりが、バラバラとバラけて、しっかり芯残り。さらに、混雑時に寄せ負けしない、強力な集魚パワーも装備。そんな「一発」の釣りのための専用バラケ。単品で、ブレンドで、バラケの組み立ての中心となるエサです。

●段差バラケ 750g

混雑時に寄せ負けしないための「段差バラケ」。

野釣りでも、準山上湖でも、休日の混雑などで食い渋ったたら、「段差バラケ」と「一発」の出番です。ダンゴの釣りでは、ハリスを長くしたり、ウキを小さくしたりしても、どうしてもアタリが出ない。そんな難しい状況でも、貴重な1枚につながる、カチツとしたアタリを出してくれる、とつても頼れるコンビです。

# 「段差バラケ」+「一発」

休日・混雑時の正攻法。

食い渋ったたら



食い渋るへらにも吸い込みやすい「一発」。

軽く、小さいため、食い渋るへらにも吸い込みやすいわせエサ。キメの細かい魅が、沈下途中のハリ抜けを抑えます。ハリに付いているという安心感が、じっくりと待つ釣りを可能にします。釣況に合わせて選べる3サイズ。

●一発 (小・極小・ミクロ)

定価 1000円 本体九五二円

へら鮎天国 **START!!**  
スタート!!!▶▶▶▶▶

マルキユーホームページ内の「へら鮎天国」では、インストラクターをはじめ、多くの名手から続々と寄せられる、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の最新情報も見られるかも!?マルキユーホームページ (<http://www.marukyu.com/>) をチェックしてください。

丸マルキユーへら鮎メールマガジン、大好評配信中!!

マルキユーでは、耳寄り情報満載のメールマガジンを無料配信します。配信登録の方法など、詳細についてはマルキユーホームページをご覧ください。→

<http://www.marukyu.com/>

丸マルキユー株式会社  
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909  
合わせ 四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909  
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら  
Eメール・ホームページ  
<http://www.marukyu.com/i>

